

提案するアイデア1「街ブラしながら楽しめる街角美術館・街角博物館」

1 背景・趣旨

郊外にできるスーパーや大規模店舗に押され長年街に馴染み暮らしを支えてきた老舗店舗や地域貢献店舗の影が薄くなっていて九州も例外ではない。地方創生が叫ばれている今、座してこれらの衰退を待ってはられない。キーとなるのが人通りのある商店街や人が頻繁に訪れる店舗の復活である。いうまでもなく老舗店舗や地域貢献店舗のもつ職人芸や伝統技術は地域の宝として君臨してきたし、持続可能なものにしてゆかなければならない。そうした老舗店舗、地域貢献店舗に着目し提案する。

2 内容

街の人、街を訪れる人が歩いて楽しめる、いわゆる街ブラしながら老舗店舗や地域貢献店舗が持つ職人芸や伝統技術による製品、成果物が気軽に眺められるまちづくりをしたい。そのため店の中に入らずともウインドウショッピングが出来る店舗づくりをしたい。名称は「街角美術館、街角博物館」とする。

3 手法

商店街連合会や業種別専門店協会のほか、商工会議所、商工会や行政が職人芸や伝統技術に裏付けられた製品や成果物を認定し、街ブラしながらウインドウショッピングができる店舗作り、店舗リフォームを働きかけ同時に支援も行う。ウインドウはそれほど大きくなくともよく、道を歩きながら容易に眺められればよい。

店舗作りをしたことがわかるように統一した表示板を設け、街角美術館・街角博物館であること、由来やスタート年次をはじめどんな職人芸や伝統技術に裏付けられたものなのかわかる説明のある表示板を設置する。

3 活用法

店舗づくりをした店のあるマップをつくり観光案内所や駅改札で入手できるようにし、街ブラを促し集客を図る。またインターネットでも紹介を行う。